

今月のトピックス

- ・全国モモ研究大会 in 鹿角! ……《ブランドアップ戦略レポート》
- ・農業に光をテラス。鹿角エヌ・シー・エル株式会社高橋社長 …《鹿角ヒト情報》
- ・今年もやるよ ばんび☆バザール …《ブランドアップ関連ニュース》
- ・伝説が結ぶつながり……………《室長コラム》

鹿角ブランドアップ戦略レポート

桃花プロジェクト

「第49回全国モモ研究大会秋田県大会」が開催されました

6月7日、標記大会がホテル鹿角で開催され、生産者の方々を中心に、全国のもも産地から関係者約500人が参加しました。



大会では、佐竹知事が特別講話をを行い、ももをはじめとした、ふぐ・桧山茶の北限シリーズの紹介や、「あきたびじょん」の戦略的展開などを紹介しました。



また、記念講演として、劇団「ぜんとようようくらぶ」代表で内閣府「地域活性化伝道師」の志村尚一氏が、日本農業の将来展望とそれを支える農村の若者、また、若者の定着に向けた取り組みを、自らの関わった事例を交えて講演されました。

志村氏の講演は、農業後継者が定着できる農村の形成を最終目標に／消費者に近いところに立ち位置を保つ／販売ターゲットのニーズを的確に把握する／マーケットインの発想で売れるものを作る／商品の背後にあるストーリーが消費者の気持ちをつかむ

といったブランドマーケティングそのものをベースとした講演がありました。

2日目の園地視察では、プロジェクトメンバーの佐藤一さんの園地も視察先となり、参加者の方々に、もも(缶詰)のデザートが提供されました。



「(公財)日本サッカー協会こころのプロジェクト5周年記念事業」に本市も参加しました!



6月4日、東京で行われたJFA「こころのプロジェクト5周年記念パーティー」で、北限の桃の果肉を使用した洋菓子(ゼリー)が記念品として振舞われました。祝賀会には、トップアスリートなど、日本を代表する著名人も参加しており、「かづの北限の桃」を通じて「鹿角」の知名度向上に貢献しました！

モモ研究大会でのもも(缶詰)提供・こころのプロジェクトでの記念品提供など、桃花プロジェクトメンバーの取り組みが、実益に繋がる例もでてきました。今年度もメンバーの皆さんと一緒に、試行錯誤しながら取り組んで行きましょう！ご興味をお持ちの方も、ぜひご参加ください。

コミュニティFMプロジェクト

鹿角コミュニティFM株式会社設立発起人会は、FM局開局に向け、本格的に活動を開始しました。まずは、会社の設立に向けて出資者の申し込みを開始しています。発起人の8名が中心となって、ラジオが提供できる機能や楽しさを伝えるため、市内の事業者などへ説明に奔走しています。

また同時に、コンサルタントの川井氏のアドバイスを受けながら、開局申請書類の作成を急いでおり、6月中には申請書(原案)として総務省東北総合通信局に提出予定です。さらに、可聴エリアで最適なFM局の周波数を調査する「潜在電界調査」も6月中に実施することとしています。

ソフト面では、発起人と有志が集まり、番組編成サポートチームが詳細な番組編成作業を進めており、誰もが聴きたくなる、楽しくて魅力的な番組づくりを進めているところです。「この地域を元気にしたい！その起爆剤にしよう！」「地域結束の基盤としたい！」「災害時には地域住民の生命と財産を守れる放送局でありたい！」

発起人の熱い想いに、どうかご協力とご支援をお願いします。

米粉プロジェクト



5月31日(水)に「米・米粉加工品ブランドアップ事業」(以下、事業)によるワークショップが、事業全体にアドバイスを頂いてる(株)DDR 代表の安藤 竜二さんを講師に迎え、かづの商工会で開催されました。今回は勉強会に先立ち、安藤さんにメンバーの事業所や名所・旧跡などを回っていただき、鹿角地域を深く理解して頂きました。その後の勉強会では、安藤さんからの課題でもあったブランド化に向けたストーリーを整理するため、メンバーがグループ毎にまとめた各種資源(伝説・祭り等)と農業(米・米粉)などの繋がりについてグループの代表がプレゼンを行い、メンバー自身も鹿角地域の魅力を再確認しました。安藤さんからは、ユネスコ無形文化遺産の大日堂舞楽に代表される優れた資源等の活用や消費者にストーリーを伝えていくための手法、ターゲットの設定、地域がつながり情報発信していく重要性など、実例を交えながら具体的なアドバイスを受けました。また今回は、メンバーが共有すべきプロジェクトの名称や概要、想定するターゲットに向けたPRツールの作成などについて課題が出されました。今後は、引き続き安藤さんからアドバイスを受けつつ、ワークショップを通してこれらの課題を解決しながら統一ブランド化に向け、事業展開を図っていくことにしています。



